

## 4 財政状況

### 1 財政の概況

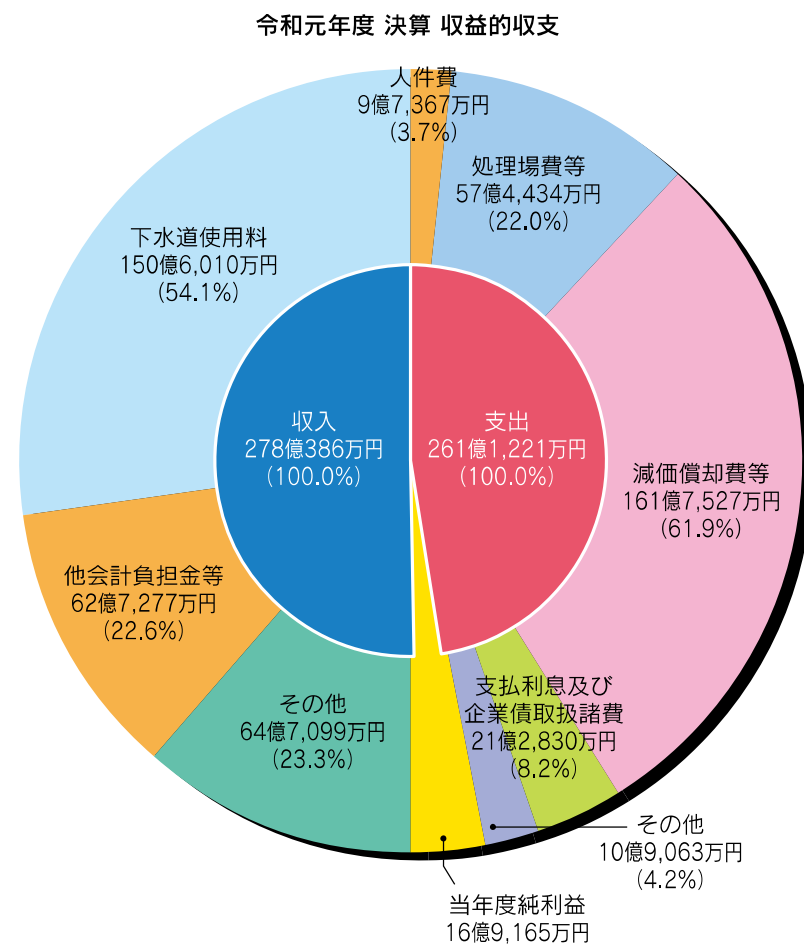
令和元年度は、平成28年4月に策定した「北九州市上下水道事業中期経営計画」(H28～R2)に基づき、着実に事業を実施することで、下水道使用料の適正な賦課徴収により収入の確保を図るとともに、改築・更新時に併せた高効率機器の導入などによる維持管理コストの削減に努めた。

財政面では、単年度資金収支は、6億5,394万円のマイナスとなったが、累積では21億3,301万円の資金剰余を確保し、引き続き安定経営を維持している。

### 2 令和元年度決算(税込)

#### (1) 収益的収支

収入は営業収益215億6,260万円(うち使用料収入150億6,010万円)、営業外収益62億3,486万円、特別利益640万円で総額278億386万円となり、支出は営業費用237億4,670万円、営業外費用23億3,255万円、特別損失3,296万円で総額261億1,221万円となった。この結果、令和元年度は16億9,165万円の利益が生じた。



#### (2) 資本的収支

収入は、企業債50億円、国庫補助金51億3,223万円などで、総額121億610万円となり、支出は施設整備費128億5,116万円、企業債償還金91億3,278万円などで総額247億6,494万円となり、収支差引では126億5,884万円の不足となった。

#### (3) 資金収支

資本的収支による資本不足額126億5,884万円を損益勘定留保資金等で補てんした結果、単年度資金収支は6億5,394万円のマイナスとなったが、令和元年度末の累積資金剰余は21億3,301万円を確保した。

